

# 平成20年度事業実施結果

団体名	雫子水の自然を育てる会	担当課	道路河川建設課
事業名称	誰にでも気軽に取り組める雨水の浸透		
概要	<p>湧水地である雫子水周辺をモデル地区として、どの家庭でも取り組める簡易な雨水浸透・貯留・利用の方法を研究、試行し、実際に一般住宅に設置した。          広く市民に向かって雨水浸透・貯留等の必要性を理解してもらうため、見学会等を行い、またパンフレットを作成しその普及を図った。</p>		
	【主な実施事業】		
	実施月	内容	
	20年6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・七面堂境内にペットボトル浸透マス、ポリバケツ貯留タンクの設置</li> <li>・鎌ヶ谷市環境展にて浸透マスの紹介</li> </ul>	
	7月	「水辺に親しむ親子の集い(貝柄山公園)」にて、浸透予備実験のデモンストレーション	
	8月	七面堂境内で浸透実験	
	10月	雫子水湧水祭り(七面堂境内)にて、浸透マスの紹介	
	11月～21年1月	個人宅に浸透マス・貯留タンクの設置	
3月	シンポジウムの開催		
成果及び協働の効果	<p>貝柄山公園における多くの親子が参加した浸透予備実験、また雫子水公園内で市民と共に行ったデータ集積を目的とした実験をへて、今回の簡易な方式でも十分な効果が得られることが確認できた。</p> <p>一般住宅には3列設置し、それぞれの条件にあった設置方法を模索した結果、比較的簡単に取り付けられることが確認でき、その後の経過も順調なため、今後一般への普及を勧められるとの感触を得た。</p> <p>シンポジウムでは、雨水の流れについての市からの説明、長年総合治水に取り組んでいる市川の市民団体の基調講演等も交えて、立体的に水循環を守ることの重要性を参加者に理解してもらえたと考える。</p> <p>協働の効果については、実験等を通して鎌ヶ谷市の雨水をめぐる現況について理解を深めることができた。</p> <p>また、総合治水や環境の課題については、市民個人々が行政と共に取り組まなければならない問題であるとの認識を喚起できたと考える。</p>		